

## 平成23年度の 厚年本体利回り(確定値):2.17%

対象先	DB年金	厚年基金	DC	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考に厚年年金以外のお客様にも送信しています。

### ポイント

標記につき厚生労働省より数値の公表がありましたのでご案内致します<sup>1</sup>。

1. 平成23年度の厚年本体利回り：2.17%<sup>2</sup>
2. 上記2.17%を基に、平成23年度の最低責任準備金（継続基準）の算出に用いる利率の通知<sup>3</sup>が発出されました。

- 1 「厚生年金・国民年金の平成23年度収支決算の概要」  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002h9dp-att/2r9852000002h9hl.pdf>
- 2 弊社推計値（平成23年度厚年基金財政決算速報使用値）は2.2%（☞ [年金ニュースNo.288](#)）
- 3 「「厚生年金基金における最低責任準備金調整加算額及び控除額の算定について」の一部改正について」（年発0810第1号）

### 厚年基金への影響

- ✓ 厚年本体の運用利回りの基金財政運営に与える影響は、以下の3点です。
  - 最低責任準備金（継続基準）の算出に用いる利率（平成23年度分）  
今回確定
  - 回復計画上の最低責任準備金の付利率（平成25年1月以降分）  
今回確定
  - 期ズレありの最低責任準備金の算出に用いる利率（平成25年分）  
未発出（例年12月下旬に告示）

☞ 詳細は次頁ご参照

## 影響 最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率

- ✓ 平成23年度の継続基準における最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率は、2.17%と通知で定められました。

## 影響 回復計画上の最低責任準備金の付利率

- ✓ 回復計画策定上の最低責任準備金の予測に用いる利率は、以下の、のいずれか小さい率を下回らないように定めます。  
厚年本体の直近5年の運用実績。ただし、当該平均値がマイナスの場合は、当該実績値に基づき合理的に見込まれる率(ゼロを上回る率)。  
 厚年本体の財政検証における運用利回りの前提
- ✓ 平成23年度決算に基づき回復計画を策定する場合、下表の通り直近5年の平均値がマイナスであることにより、当該実績値に基づき合理的に見込まれる率(ゼロを上回る率)を0.01%とすると、平成21年の厚年本体の財政検証における運用利回りの前提を下回るため、平成26年以降の見込みとして0.01%が適用可能です。
- ✓ ただし、指定基金は健全化計画と同じ前提で回復計画を作成する必要があるため、新財政運営基準の前提<sup>1</sup>が適用されます。

<sup>1</sup> 平成21年の厚年本体の財政検証における運用利回り ( [年金ニュースNo.285](#) )

### 《厚年本体の運用実績》

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
年度実績	3.54 %	6.83 %	7.54 %	0.26 %	2.17 %
過去5年平均	-				0.18 %

### 《23年度回復計画策定上の最低責任準備金の付利率》

	平成25年1月～12月	平成26年以降
付利率 (過去5年平均)	2.17 %	0.01 %
付利率 (厚年本体の前提)		2.03 %～4.10 % <sup>2</sup>
と の小さい方	-	0.01 % <sup>3</sup>

合理的に見込まれる率

<sup>2</sup> 平成21年の厚年本体の財政検証における運用利回り前提に基づく付利率

<sup>3</sup> 指定基金は健全化計画と同じ前提で回復計画を作成する必要があるため、付利率が適用されます。

### 《ご参考、平成21年の厚年本体の財政検証における運用利回り前提》

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32年度以降
利率 (%)	1.47	1.78	1.92	2.03	2.23	2.57	2.91	3.39	3.65	3.85	4.00	4.10

回復計画上は1年9ヵ月後ズレして適用します。

## 影響 期ズレありの最低責任準備金の算出に用いる利率

- ✓ 期ズレありの最低責任準備金の平成25年1月～12月に適用される利率は、2.17%に基づき、別途告示される予定です。(例年12月下旬)

以上